

東京産農産物を学校給食に 農業者への東京都知事感謝状贈呈

令和7年1月24日(金)に、東京都庁第一本庁舎7階ホールにて、学校給食に取り組む農業者への東京都知事感謝状贈呈式が行われました。この感謝状贈呈は今回が初めてとなります。受賞者は、各自治体の推薦を経て、都の審査会により選ばれた9区市町19名の農業者です。学校給食に30年以上継続して出荷、または学校給食に5年以上継続して出荷、かつ出荷拡大や積極的な食育活動への参加などが推薦の基準となっています。



知事と参加した受賞者の皆さん

知事は「今日は全国学校給食週間の初日で、感謝状を贈るのにふさわしい日。東京は年々農地が減っているが、給食への出荷が緑を守ることにつながり、また子供たちが緑について考えるきっかけとなれればと願う。今後も給食への出荷と食育に尽力してほしい」と話しました。

受賞者代表の西東京市の田倉さんは、「給食に取り組み始めたきっかけは、ちょうど今から40年前に地元の栄養士と我々田倉農園との思いが一致して、2校から始めた。その後、時は経ち今から16年前、畑のない東京23区内の子供たちにも東京産の野菜をという思いで、23区内の学校へもお届けを始め、現在は地元併せて60校に至っている。私たち、大人たちが明日を担う子供たちのために、スクラムを組み、諸課題を解決し、より円滑な地場産給食の提供を目指していきたい。」と述べました。

受賞者の皆様、おめでとうございます！！



祝辞を述べる知事



受賞者代表挨拶の田倉夫妻(西東京市)